

## トレボン®粉剤 DL

特長： ●水稲や大豆などの幅広い害虫に効果を示します。

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

有効成分	エトフェンプロックス・・・0.50%	包装	3kg×8
性状	類白色粉末 45μm以下、浮遊性指数 20以下	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2018年11月7日現在の内容です。

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	-	イネトムシ	4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		カミシ類 イネシジロウシ成虫 ツマグロヨコバイ ウカ類 コブノメカ アザミウマ類 イコノメカ イネトモイシ コメテウ	3~4kg/10a				
		イネヒメカブリバエ フタヒコカ	3kg/10a				
小麦	-	ヒメヒウカ アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
豆類(種実)	-	ハモンヨトウ マシクイカ シロイモジマダラメカ カミシ類 フタヒコカ ダイズサヤマハエ アブラムシ類 アズキメカ	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	-	ハモンヨトウ	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
		マシクイカ シロイモジマダラメカ カミシ類 フタヒコカ ダイズサヤマハエ	4kg/10a				

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
やまのいも	-	シイロシヨトウ	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
さといも	-	ハモンヨトウ	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
ばれいしょ	-	テントウムシダマシ類	4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんしょ	-	ハモンヨトウ ナジロシカバ	4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
とうもろこし	-	アヲメカガ	4kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
きゅうり	-	ウリハムシ	3~4kg/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
なす	-	テントウムシダマシ類	4kg/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
すいか	-	ハモンヨトウ ウリハムシ	4kg/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
キャベツ	-	ハモンヨトウ アブラムシ類 アオムシ	3~4kg/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
はくさい	-	アオムシ	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		コカガ	4kg/10a				
だいこん	-	アオムシ	3~4kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
		ダイコンサルハムシ	4kg/10a				
れんこん	-	マメカガネ	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
水田作物、畑作物(休耕田)	シ、サ、ス、セ、カ、ア、ダ、チ、ウ等の多年生雑草が優占している休耕田	カムシ類	3~4kg/10a	-	3回以内	散布	3回以内

については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

#### 使用上の注意事項

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- イネミズゾウムシ成虫に使用する場合、移動範囲が広いのでなるべく広域でいっせいに防除し、畦畔などの周辺雑草にも散布すること。

- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 誤食などのないよう注意すること。
- (2) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- (4) 作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

#### 水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用はさけること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

#### 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法では、その該当がない。

#### 貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。